

【2月10日～14日】

# 初公開！ 太田家(中の太田)の2棟の大蔵

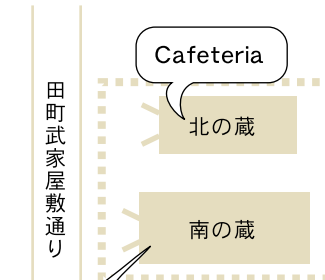
【10日～12日】 11:00～17:00

【13日・14日】 11:00～19:00



## 期間中常設展示

※木造の大きな小屋の中に、  
2棟の大蔵が納められています。



- ◆光る！角館の蔵地図展示
- ◆蔵の特徴展示
- ◆蔵の建築年表展示
- ◆古地図の展示
- ◆昔の角館の写真展示
- ◆大スクリーンへの蔵写真スライドショー

## 特別企画

### 【2月10日・水曜】オープニングイベント

餅つき、おしるこを楽しむ「蔵開き」

11:00～ 太田家(中の太田)の蔵 ※入場無料

### 【2月11日・祝日】シンポジウム

蔵の保存、再生、活用に向けて「蔵がある…」

2:00～ 外町交流館 ※入場無料

#### 基調講演

渡辺敏男氏 (設計事務所主宰、盛岡まち並み塾事務局長、岩手大学教育学部芸術文化課程非常勤講師、日本建築家協会東北支部岩手地域会長)

#### パネルディスカッション

コーディネーター 小出和郎氏 (都市環境研究所)

パネリスト 渡辺敏男氏

吉川一久氏 (長野市在住、設計事務所主宰)

門脇光浩氏 (仙北市長)

### 【2月13日・土曜】フィールドワーク

初公開もあります「蔵めぐりツアー」

10時集合12時解散予定 ※参加無料

※お問合せ・お申込は、角館町観光協会へ0187-54-2700  
(要予約、40名限定、定員になり次第締め切ります)

誰が建てて、何が入っていたんだろう？



# ありがとうさん、 角館の101棟の蔵

## 角館の蔵の多さは 専門家をも唸らせました。

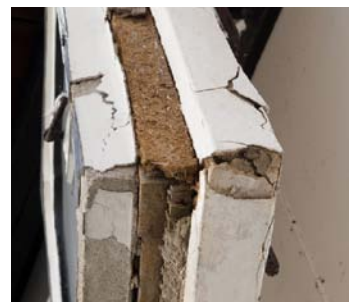
「この地域(面積)に101棟もあるなんてイジョーですよ」とおっしゃった、  
設計士・渡辺先生の言葉が印象的でした。  
藩政時代のあと、ブルジョワとも言える多数の商家が繁栄し、外町が地域経済  
の中心だった時代のしるしです。そして蔵を建てた当主の心意気や関わる人々、  
納められた商品、貴重品、食品を思うと、いきいきとした人々の暮らしが見え  
てきます。

## 蔵の素顔は、価値も悩みも… 悲喜こもごも

**貴** 現在途絶えている角館春慶で  
塗られた県内随一の蔵です。



**涙** 老朽化した蔵は当然劣化も進  
み、扉も傷んでいきます。



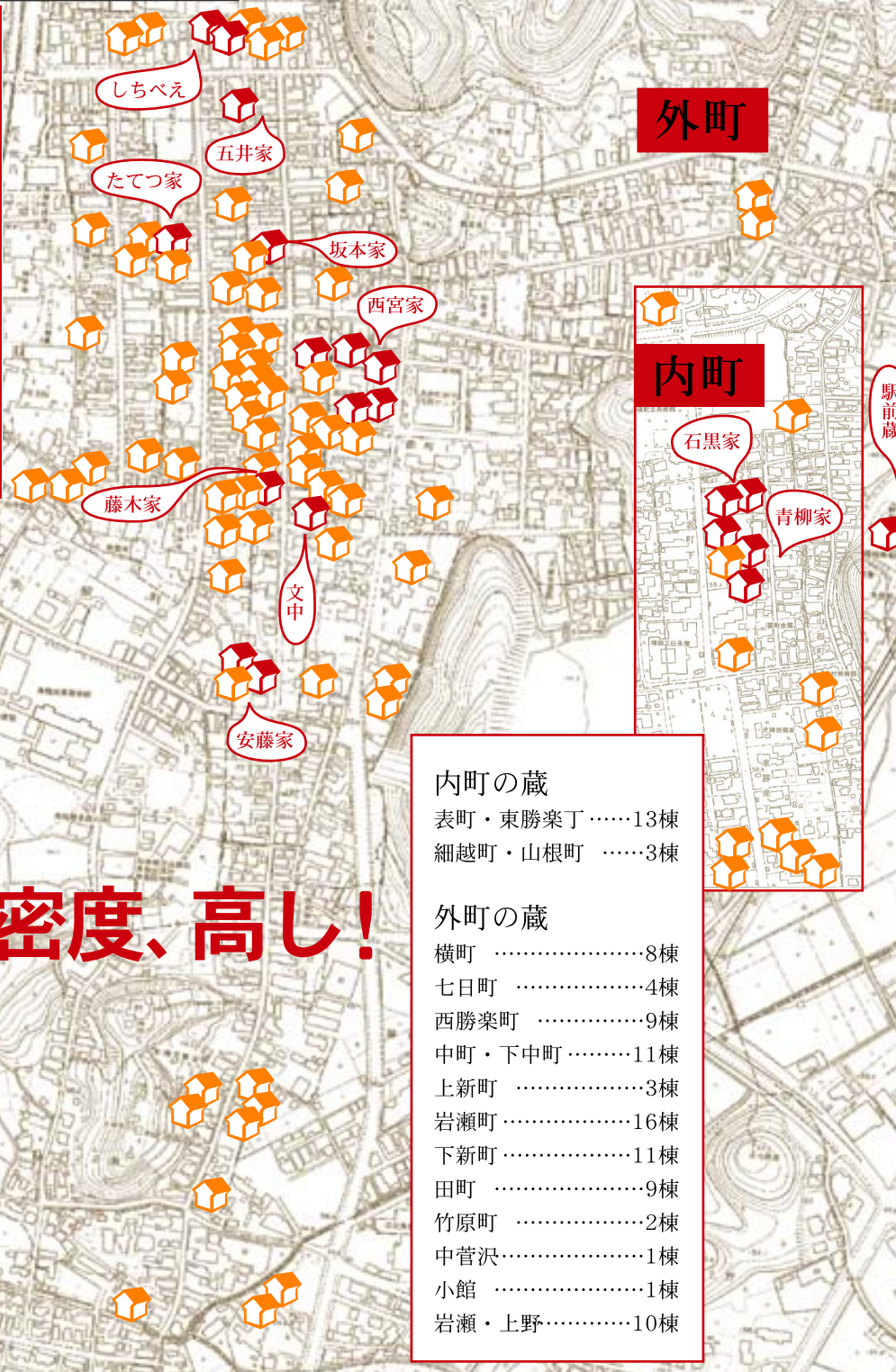
**大** 奥行き7～9間という大きな  
蔵も数棟あります。



**粧** 耐久より意匠を目的にしたの  
が角館のなまこ壁の特徴です。



101棟は2009年末に角館まちづくり研究所で調査した、旧角館町内に現存する蔵  
の数です。まだ調査にお伺いしていないお宅がありましたら、お知らせください。



## 蔵密度、高し！

### 内町の蔵

表町・東勝楽丁……13棟  
細越町・山根町……3棟

### 外町の蔵

横町……………8棟  
七日町……………4棟  
西勝楽町……………9棟  
中町・下中町……………11棟  
上新町……………3棟  
岩瀬町……………16棟  
下新町……………11棟  
田町……………9棟  
竹原町……………2棟  
中菅沢……………1棟  
小館……………1棟  
岩瀬・上野……………10棟

# 蔵伝

蔵に眠るのは、永く深い時空。昔の気配や、思いの残るもの。  
米蔵、文庫蔵、味噌蔵…。時代が変わり、暮らしに合わせて役割を変えながら私た  
ちの側に在る角館の蔵。思い出や感謝とともに記憶し、伝えてゆきたいものです。